

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年 8月 日

事業所名 幼児室ポッポ

保護者等数(児童数)12名 (14名) 回収数 10枚 割合 80%

No	質問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	1		1	人数の上限はあるのか。保育室がもう少し広いといい。テラスがあることはいいと思う。	1人当たりの床面積:2.47㎡以上が必要で、指導訓練室は延床面積43.5㎡あるので、基準は満たされている。ただ刺激を受けやすい子が多いため、もうひと部屋あることが理想である。午前中は園外活動を多く取り入れるようにし、テラスや多目的室なども活用するようにしている。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	9			3	子ども一人にほぼ職員が一人付いてくれているように見える。	基準は管理者1名・児童指導員及び保育士2名以上である。大人との信頼関係を育てることを目標にしているため、今年度は、管理者1名(兼務)・児発管1名・児童指導員及び保育士6名・臨床心理士1名・指導員4名配置している。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	1		2	マークなど貼っているように感じる	子どもが使用する空間は、安全を第一に考えて整備している。必要に応じてホワイトボードを使って視覚から情報を伝えるようにしている。またロッカーや下駄箱など子どもが使用する場所にはその子のマークを貼って分かりやすいようにしている。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	1		2	部屋の中におもちゃが多いように感じる	日々支援後に清掃し、感染症予防のためにも消毒そし、清潔に保つようしている。学期ごとに子どもたちの興味に合わせておもちゃや活動に使用できる物を置くようにしている。なるべくトラブルを防ぐために、どの子も満足して使えるようにおもちゃの数は多めにしている。
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11			1	面談をした上で計画を作成してもらっている。	半年に一回保護者と面談の中でモニタリングの中で個別支援計画の見直しを行い、作成した計画書のコピーを保護者に渡している。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11			1		個別支援計画には、ガイドラインで示す支援内容から子どもに合わせて設定している。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12					
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11			1		活動プログラムは、日々の子どもの様子を振り返りながら子どもたちがその子らしく遊べるように計画を立てている。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3		2	6	あまり交流していないように見える	感染症の影響もあり、特に設定していない。園外活動の場(狭山公園・全生園・公園など)で、他の保育園や地域の子どもたちとの交流は大事にしている。
保護者への説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10			2		入園説明会で説明し、年度始めや変更があった時には、保護者会で説明している。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	12					年に3回、アセスメント会議を行い、年に2回の面談で保護者にモニタリングと個別支援計画の説明を行っている。
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	5	3		4	ペアレント・トレーニングは行われていないと思う。	家族支援として、ペアレント・トレーニングは行っていないが、保護者の方が目の前のわが子と向き合えるように保護者の方と職員と一緒に考えていくやり方をとっている。そのための支援の一つとして、臨床心理士による行動観察に基づく助言及び保護者への相談支援(グループ相談や個別相談)を行っている。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	11	1			送迎時に話していただいて助かる	連絡帳を介して伝えるようにしている。連絡帳に記入できない部分は、送迎時や電話で詳しく伝えるようにしている。
	⑭ 定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12				連絡帳にもう少し育児の助言が欲しい	保護者と話しやすい関係を築けるように心がけている。
	⑮ 父母会活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	5	3	1	3	もう少し保護者同士が話せる機会があるといい。保護者会が定期的開催されている。コロナで中止になったこともあるが。	R3年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、保護者会やグループ相談、親子行事の開催が予定よりもできなかったため、保護者の交流の場を作ることが難しかった。今後、感染症の状況をみながら保護者同士が交流できる場を作っていければと思う。
⑯ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	1				毎月1回臨床心理士の個別相談を行っている。その他、連絡帳・電話・送迎時に相談が必要な際にはいつでも対応することを保護者会やお便り等で周知している。	

	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	1			子どもは担当職員とまずは信頼関係が築けるように子どもの気持ちに寄り添った丁寧な支援を行っている。連絡帳や送迎時に保護者とコミュニケーションをとるよう心掛けている。		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	1		1	予定表は毎月、ポッポだよりは行事毎に、職員体制は変更がある毎に書面にて伝え、法人のホームページ・フェイスブックから支援の様子を発信している。自己評価の結果は年1回、3学期の保護者会にて資料を基に説明し、次年度法人のホームページに掲載している。		
	⑲	個人情報の取扱いに充分注意されているか	10				2	パソコン、USBなどのデータ・個人調査票・個人面談レジュメ・アセスメント表・個別支援計画・相談記録等の個人情報は、鍵付き書棚に収納している。フェイスブックに掲載する写真は、人物が特定できないものを掲載している。保護者の方に回しているUSBによる写真の取扱いは、皆さんのご協力を願う。	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	10				2	毎月の予定表に避難訓練の日を載せ、毎月1回必ず行っている。マニュアルは各々策定している。今まで以上に保護者会等で保護者がマニュアルに目が通しやすいように工夫したい。	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10				2	子どもたちに恐怖心を与えず、訓練に慣れるよう配慮しながら行っている。年6回あきつ園と合同で行い、さらにポッポだけで一学期は、園内での避難訓練。二学期は園外での避難訓練。三学期は防災頭巾を使用する等段階的に行っている。職員は役割分担し、毎月報告書に記録している。	
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	12					特に送迎車に乗ることが楽しいようです。とても楽しみにしていて、家でも”ポッポ””ポッポ”と言ってます。泣くことはあるようですが、積極的に送迎車に乗ります。	今後も子どもたちが心から楽しめ、居心地よく居られる場所になれるようにしたいです。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	12					とても満足している。送迎があり感謝している。子どもが楽しく通っている。	子どもたちを中心に保護者の方と一緒に考えて、よりよい支援ができるようにしていきます。